

# MFJ 北海道エンデューロ選手権第2戦ヒーローレーシング大会 観戦レポート

(2019. 6. 30 夕張マウントレースイ)

先日、夕張のマウントレースイで開催された“北海道エンデューロ選手権第2戦ヒーローレーシング大会”に行ってきました。

本州方面では大きな低気圧が発生しており、夕張でも午後から雨が降るとの天気予報を心配していましたが、実際には朝から天気が良く、雨もしばらく降っていないせいか、コース路面は鉄杭も打てないほどのカッチ・カチ。前日のコース作りでは、杭を打つのを諦めて、束ねた草にコーステープを巻き付けて張るような場所も出てきました。おまけに土ボコリがひどく、参加されたライダーの皆さんにとっては、ライバルのみならず土ボコリとも戦わなければならないレースとなりました。



さて、今回のレースは、前回のルスツ戦と異なって、スタートしてからゴールまで、誰が一番速く走るかを競うクラス別のガチンコ勝負。

設定されたコースは昨年とほぼ同じで、スタートしてから林道を爆走し、左に折れて小高い丘を登ってから右折して林間を抜け、その後はスキー場のでっぺんまでつながった林道を延々と登ります。でっぺんまで行くと今度はスキー場の斜面を下るのですが、この下りには嫌らしいU字溝があり、前ブレーキをかけるとハマって前転するし、上級者なみに速度を乗せて渡ればスムーズに越えられるものの、スピードが出過ぎるとブレーキ制御が効かずに、ひるんで転んでしまいます。U字溝は下るまで10ヶ所くらいあるので、なかなか気が抜けません。スキー場の下まで降りると、今度はリフト乗り場から轍の一本道を下って沢に入り、そのあとは、ピット付近のズリ山のクネクネしたコースを走り抜けて、スタートした場所の方に戻って1周となります。

コースの距離は測れませんでした。時間的には1周およそ10分から15分位の設定になっていました。

大会事務局から発表された出場総数は 71 台で、第 1 戦目のルスツ戦とほぼ同じ。

公認 IB クラスが 12 台、NA クラスが 10 台、NB クラスが 32 台、承認 B クラスが 4 台、C クラスが 9 台、市販車クラスが 3 台、市販車 EXP クラスが 1 台となっていました。

スケジュールどおり朝 8 時から受付・車検が始まり、そのあと開会式とブリーフィングが行われました。



(受付の様子)



(車検の様子)



(主催者挨拶)



(前川名誉大会長挨拶)



(伊藤大会長挨拶)



(平野審査委員)

9 時に承認クラスの B・C・市販車、市販車 EXP クラスが一齐にスタートしました。承認クラスが終わった後は、11 時時に公認クラスの IB、NA、NB クラスによる 2 時間 30 分の決勝レースがスタートしました。



コースの路面は硬く、一見走り易そうに見えていましたが、スタート直後の様子を見てびっくり仰天！！先頭車両が巻き上げた土ボコリのおかげで、後ろになればなるほど前や路面が見えなくなるという気を抜けないレースが始まりました。

●公認 NA クラス — 高校生ライダーの伊藤選手が総合優勝そしてクラス優勝！



NA クラスは前回に引き続きゼッケン 330 番の伊藤選手が優勝しました。

しかも 2 位の 329 中江選手に 6 分近い差をつけるどころか、IB クラスで優勝した 154 佐藤選手にも 4 分弱の差をつけて、全 71 台の中でダントツの総合優勝です。今回の NA クラスのトップ・スリーは、3 人とも今年 NB から昇格したメンバーでかなりの勢いがあります。なかでも 330 伊藤選手と 329 中江選手の二人は群を抜いていて、3 位に 2 周回の差をつけるほどのハイレベル。ゼッケン番号を見てもわかるように、昨年は 329 中江選手の方が良い成績を残していたのですが、本人曰く「今年の伊藤選手は昨年とまるで違う。冬の間はかなり走り込んだのではないか。」と話していました。伊藤選手はまだ高校 3 年生。まだまだ伸び代（しろ）が十分にあるし、今後の活躍がとても楽しみな選手ですね。

ほかの選手の状況はというと、当初順調そうに見えた 304 小山選手は、最終週のピット 100 メートルほど手前で痛恨のガス欠となり、ゴールまで押してくる間に同クラスの選手に抜かれてしまったと悔しがっていました。また 318 清水選手も、フロントタイヤがパンクし、チューブ交換で大きくタイムロスをしてしまったようです。



(329 中江選手)



(333 佐藤選手)



(304 小山選手)

ところで来年の IB 昇格枠なのですが、これまでと同じであれば 3 枠。この 3 枠を巡って伊藤選手や中江選手とともに最終戦まで昇格を争うのは一体誰なのか興味津々。第 1 戦と第 2 戦に出場してポイントを稼いでいる 3 番手の 333 佐藤選手、同ポイントの 304 小山選手、5 番手の 343 小林選手、6 番手の 318 清水選手、7 番手の 332 秋元選手までのポイント差はわずか 4 ポイントなので、これからのレース次第ではまだまだ波乱が起きそうですね。

### ● 公認 IB クラス — 佐藤選手がクラス優勝、ポイントランキングのトップに！



今年のシリーズ戦で誰が IA に昇格するのか最も注目を集めるこのクラス。

今回は 154 佐藤選手がスタート直後に起きたハプニングでの遅れをはねのけて、見事に今シリーズ戦での初勝利を挙げました。2 位は 143 奥谷選手、3 位は 156 堀選手、4 位が 144 竹内選手、5 位が 121 木口選手。前回優勝した 110 前田選手は、今回 10 位と成績が奮いませんでした。レース後にお話を伺うと、スタート直後から腕上がりが治まらず始終思うように走れなかったと話していました。

注目の IA 昇格枠 (1 枠) を目指したポイント争いですが、現時点でのトップはもちろん佐藤選手 (47P)、2 番手は前田選手 (36P)、同ポイント数の木口選手、4 番手の堀選手、5 番手の宮崎選手、同ポイント数の小谷選手 (30P) で、2 番手から 6 番手までの差は 6 ポイントです。また今回は今年 IB に昇格したばかりの 143 奥谷選手が 2 位、144 竹内選手が 4 位に入っており、両者とも第 1 戦には出場していないのでポイント的には順位が低いものの、今後、古株に混じって戦うルーキー選手の活躍が楽しみになりそうです。お二人には是非とも今後はフル出場して頑張っていたきたいですね。

### ●公認 NB クラス — 飯田選手が順当に 2 連勝！

前回に引き続き 482 飯田選手が当たり前のように優勝しました。今回は総合優勝とはならなかったものの、ベストラップ 10 分 37 秒は全出場者の中で 1 番時計を出しており、さすがといった感じがします。林間で写真を撮っている間に、駆け抜けるのが速すぎてファインダー内にきっちり後姿まで捉えることができませんでした。ここまでくると、今後は NB クラスを全戦全勝でコンプリート出来るかどうか楽しみの一つになってきましたね。



### ●承認 B クラス — 石川選手が今シーズン初優勝！



承認 B クラスはヒーローレーシング大会の常連 601 石川選手が優勝しました。

ちなみに石川選手の昨年と同大会での成績は、第 2 戦が 1 位、第 3 戦が 2 位、第 5 戦が 1 位と好成績を残しており、今回の大会でも 2 位以下に 1 周回以上の差をつけて圧勝しました。

2 位は 607 大石選手、3 位は 602 高倉選手でその差はわずかに 28 秒でした。

なお前回優勝した竹田選手は今回欠場でした。

## ●承認Cクラス — 竹内選手が初優勝！



承認Cクラスで優勝した竹内選手は、ふだん日高で活動しており、いままでレースに出たところはほとんど見たことがなかったので、今回の夕張出場には少々驚いてしまいました。タイム的にはBクラスで上位入賞できる成績を出しているのので、次回出るとすれば、おそらくBクラスかNBクラスですね。

ところで今回2位になった653山本選手ですが、本人に確認したところでは、今年はCクラスで最後まで頑張るようです。

現時点での山本選手のポイントは47Pでダントツ1番手。2番手654青田選手(38P)との

差は9ポイント。3番手以降の669矢野選手や657村井選手も毎回出場でかなり頑張っています。また前回ルスト戦に参加できなかった660佐藤選手が今回3位に入っており、今後の女性選手の活躍が楽しみなクラスになってきました。これからもウーマンパワーでどんどんレースを盛り上げてほしいですね。

## ●市販車クラス・市販車EXPクラス

市販車クラスは3台、市販車EXPクラスは1台の参加でした。市販車クラスで優勝したのは707関井選手、2位は702竹村選手、3位は706高橋選手でした。市販車EXPクラスに出場した700菅原選手は、昨年出場したレースは4レースとも全て1位なので、現時点では負け知らずの6連勝中です。今後どこまで記録を伸ばすのか楽しみになってきましたね。MFJの事務局から聞いた話では、このクラスを設定しているのは毎回出場している皆さんからの要望が強く影響しているとのこと。楽しいオフロードレースの裾野を広げていくためにも、初心者から上級者までが気軽に市販車で参加できる、こうした敷居の低いクラスの存続を今後も是非続けて欲しいですね。

## ●表彰式の模様（紙面スペースの関係で掲載は順不同です。）

### ☆ 1Bクラス（写真右から1位～6位）



- 154 佐藤選手
- 143 奥谷選手
- 156 堀選手
- 144 竹内選手
- 121 木口選手
- 115 小谷選手

☆ NAクラス (写真右から1位~6位)



- 331 伊藤選手
- 329 中江選手
- 333 佐藤選手
- 343 小林選手
- 304 小山選手
- 332 秋元選手

☆ NBクラス



(写真右から1位~10位)

- 482 飯田選手、445 北谷選手、474 山下選手、424 鈴木選手、439 梅田選手、460 渋谷選手、447 松山選手、
- 477 田崎選手、478 菊池選手、466 澤渡選手

☆ Bクラス（左の竹内さんは代理です）



(601 石川選手、607 大石選手、602 高倉選手)

☆ Cクラス（写真右から1位~6位）



672 竹内選手、653 山本選手、660 佐藤選手、654 青田選手、657 村井選手、669 矢野選手

☆ 市販車クラス

1位 707 関井選手、2位 702 竹村選手、3位 706 高橋選手

(何故かしら表彰式でこのクラスの写真だけが写っていませんでした。)

☆ 市販車 EXP クラス



700 菅原選手

☆ 特別賞（女性の活躍）



657 村井選手、660 佐藤選手、482 飯田選手、471 高見選手

●レースが終わって

選手の皆さんにとって今回はまさに土ボコリとの戦いだったのではないのでしょうか。自分は写真を撮るためにミニモトであちこち移動して回ったのですが、先頭車両が通り過ぎるたびに舞う土ボコリから大事なカメラを守るために、懸命に戦っていました。写真を撮ろうにも土ボコリでピントが合わず、当初考えていたような写真が撮れなかったのですが、土ボコリのおかげでいつもより写す枚数が減ってしまったので、写真整理をする上では好都合なところもありました。

今回のレースでは、パンクした人や体調の悪かった人、スプロケットにロープが巻き付いてしまった人、ガス欠でゴールまで漢押しして頑張った人等々・・・それぞれいろんなドラマがあったようですが、これがまた良い思い出となって記憶に残るのだと思います。レース後にピットを回ったときに、選手の皆さんの顔がレースを走り切った達成感に満ちたとても素敵な表情をしていたのが強く印象に残りました。

レースに参加された皆さん、応援の皆さん、そしてスタッフの皆さん、大変お疲れ様でした。



次回は 7 月 21 日（日）に「北海道エンデューロ選手権 第 3 戦ヒーローレーシング大会」が、ルスツの BIGBEAR で開催されます。是非、またレース会場でお会いしましょう（^^）

BY 2か

● 2か のフォトギャラリー

<https://photos.app.goo.gl/Yu2DUzP3UscsNiCr6>

● リザルト

<https://speedhive.mylaps.com/Events/1686528?fbclid=IwAR3Aj1PV7-407CdEvSimF0reIDwsnX1mvfPDFJNvLEX5FGsA0s6dzEErU7E>

● MFJ 北海道 ED ポイントランキング

[https://www.jmpsa.or.jp/prg\\_img2/pdf/pdf2019070118010095445300.pdf?fbclid=IwAR2oymsnLCSnyuGpSufoFAV-NM-dMahH\\_Bs6Hm\\_D7KCTmv9HJil18Wt6Ri0](https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2019070118010095445300.pdf?fbclid=IwAR2oymsnLCSnyuGpSufoFAV-NM-dMahH_Bs6Hm_D7KCTmv9HJil18Wt6Ri0)

● 北海道エンデューロ選手権第 3 戦ヒーローレーシング大会（ルスツ）

[http://www.jmpsa.or.jp/block/hokkaido/race/e10964.html?fbclid=IwAR3LX92\\_bt7LmIujYTuEAZ1MmIpnspf0N1W aZrn\\_5YnI7YR56kPmhnPQh40](http://www.jmpsa.or.jp/block/hokkaido/race/e10964.html?fbclid=IwAR3LX92_bt7LmIujYTuEAZ1MmIpnspf0N1W aZrn_5YnI7YR56kPmhnPQh40)